

平成22年度 福智町の 予算

[単位: 万円] 千円以下は四捨五入。

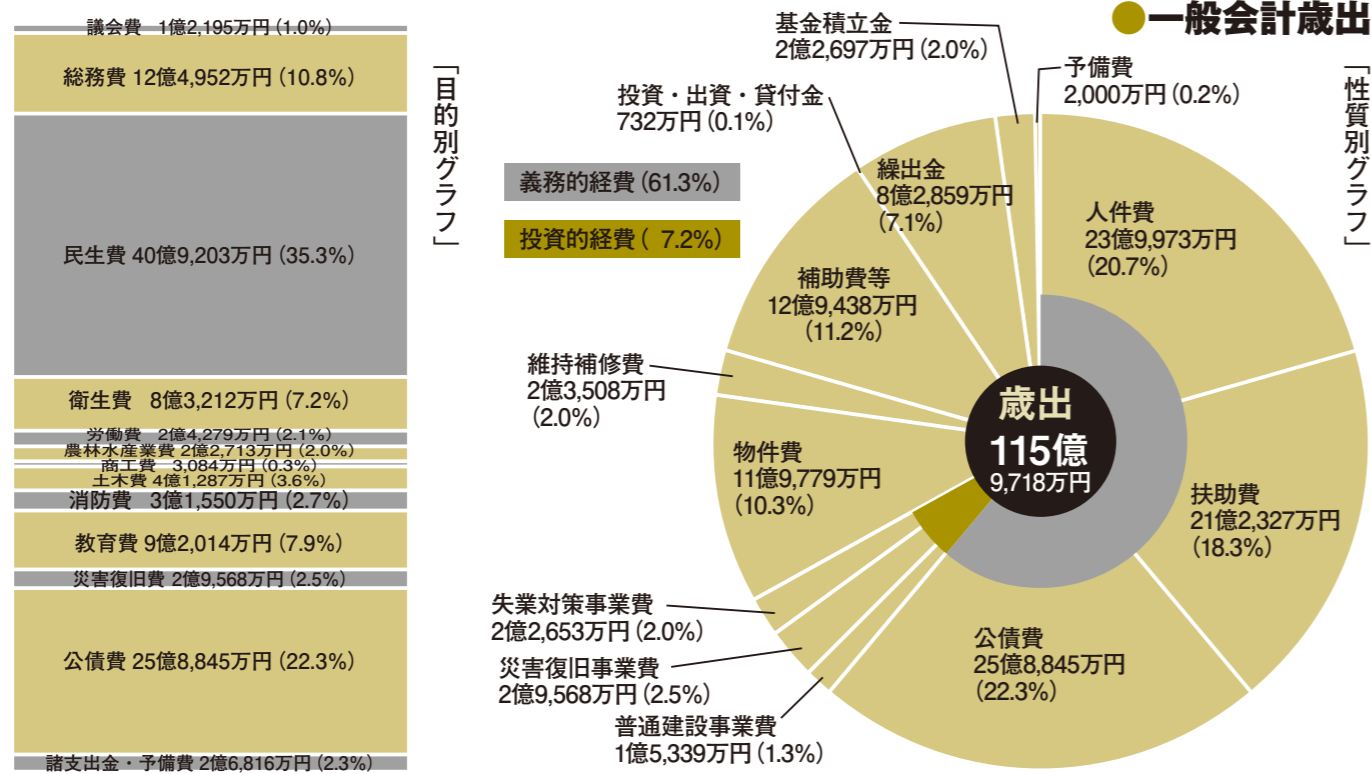
自主財源は全体の 23・2%にとどまる

本年度一般会計当初予算の概要をお知らせします。3月の町長選挙のため、新規事業や策的経費の「投資的経費」を原則計上しない「骨格予算」として編成をしたことから、予算総額は、対前年度31億2千5百48万円減の115億9千7百18万円となつ

ています。「骨格予算」とは、首長等の改選を目前に控えて、年間の行政活動を全てにわたって予算計上することが困難、あるいは適当でない判断された場合に、新規の施策等を見送り、「投資的経費」を極力抑えて「義務的経費」を中心に編成される予算です。新規及び政策的経費等計上されなかった経費は、次の議会で補正予算として

本年度予算が3月議会で可決されました。平成22年度一般会計当初予算は、3月の町長選挙のため、経常的経費や年度当初から執行しなければならない事業経費のみに抑えた「骨格予算」としています。政策的、投資的経費を含む「肉付予算」は5月に示し、6月定例議会で補正予算として上程される予定です。

一般会計 115億9,718万円
特別会計 56億5,827万円



年度末地方債(借金) 残高の推移

平成20年度決算額	約232億円
平成21年度見込額	約234億円
平成22年度見込額	約218億円

年度末基金(貯金) 総合計残高の推移

平成20年度決算額	約129億円
平成21年度見込額	約127億円
平成22年度見込額	約129億円

起債基金残高

特別会計予算

特別会計名	当初予算額
後期高齢者医療特別会計	2億9,959万円
老人保健特別会計	550万円
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	8億7,018万円
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億9,109万円
国民健康保険事業特別会計	37億2,441万円
田川郡町村公平委員会特別会計	107万円
水道事業会計	1億2,277万円
収益的収入	5億6,643万円
収益的支出	5億6,643万円
資本的収入	109万円
資本的支出	1億2,277万円

特別会計予算

用語の説明

地方交付税▼町の独自政策を補助するために、国から町に交付されるお金。

国庫・県支出金▼町特定の目的のために、国、県から交付されるお金。

町債▼公共事業などの財源として、国や銀行などから借りたお金。

地方譲与税▼国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金。

地方特例交付金▼減税を補うため国から交付されるお金。

投資的経費▼インフラ整備など、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設などストックとして将来に残るものに支出される経費。

公債費▼町が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利息の合算額。

繰出金▼一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される経費。

退職に対して採用を抑制した結果の職員減により、人件費は前年に比べて5千7百円減となりましたが、子ども手当の新設に伴い、扶助費が2億4千7百円増となったため、合計は1億9千8百円増の71億1千1百円が計上されています。道路や公共施設の建設といった「投資的経費」は、骨格予算のため原則的に計上は見送られていますが、例外的に旧特開事業前期工事分、過年発生河川災害復旧事業費等、その他補修的な工事費等、前年

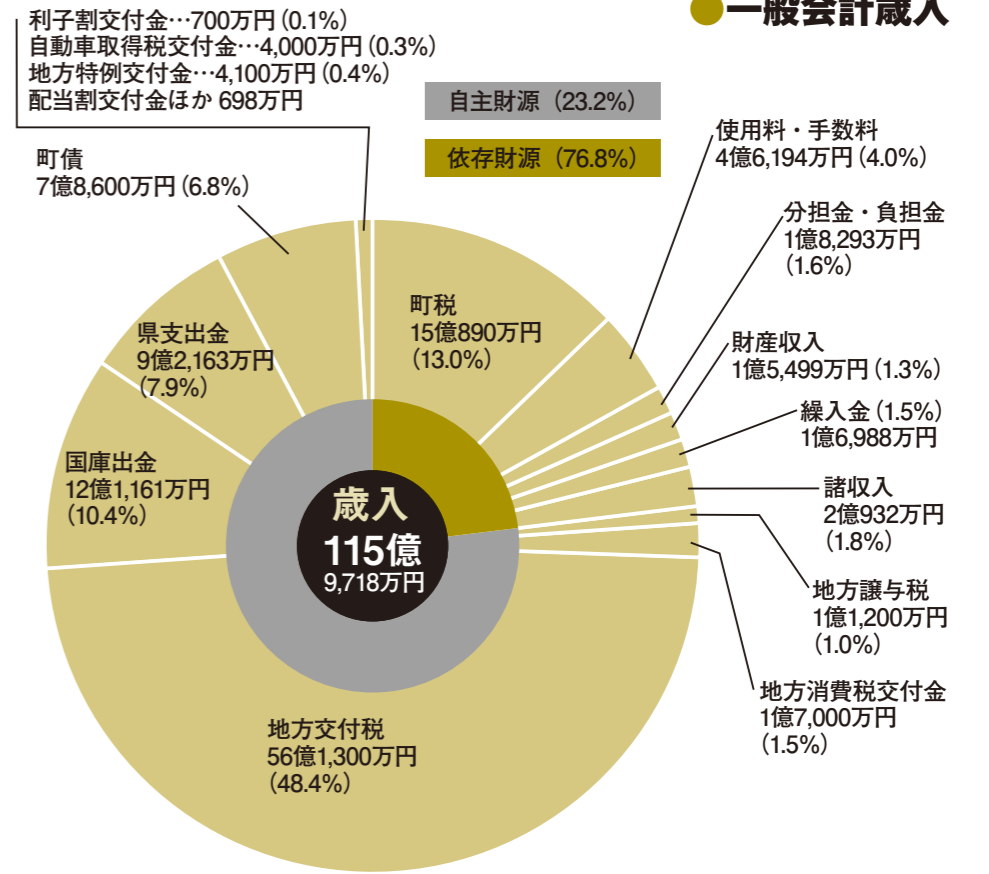
地方債残高は16億減、基金総合計残高は2億増の見込み

本年度予算は、町の借金にあたる地方債残高は16億円の減で218億円、貯金にあたる基金総合計残高は2億円の増加の129億円を見込んでいます。しかし今後の投資的経費等を含む「肉付予算」では、財源不足を町債や基金の取り崩しでまかなうことが予想されます。

診療所と国民健康保険の会計が厳しい運営を迫られる

特別会計は、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出予算と区分して整理する必要があります。ある場合又は特定の事業を行う場合において設置するもので、福智町には6つの特別会計(公平委員会特別会計が新設)と水道の企業会計があります。その中でも、特に厳しい運営を迫られているのが診療所事業特別会計と国民健康保険事業特別会計です。診療所事業特別会計が3億9千9百54万円、国民健康保険事業特別会計が10億7千2百47万円の歳入不足が見込まれます。

一般会計歳入



肉付けし、予算編成が行われます。歳入は、税金などの「自主財源」と、国や県に頼った「依存財源」の2つに大きく分けられます。「自主財源」が多いほど、町独自のサービスを行ったり、将来に向けての積立を行うなどの行政活動の自主性と安定性が確保されます。福智町は、財源の多くを「依存財源」が占め「自主財源」は全体の23・2%

骨格予算のため投資的経費は32億9千2百円減

歳出は、円グラフの「性質別」と帯グラフの「目的別」で表されています。性質別歳出では「義務的経費」「投資的経費」その他の経費に分けることができます。支出が義務づけられている「義務的経費」は、

と財政基盤の弱さを示しています。